

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 8 月 2 日

評価対象事業		評価者	都市計画課担当課長 大江 尚	
まち-09	放置自転車防止事業	☒ 自治事務	主管課	都市計画課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	5-(3) 総合交通	施策の方針	5-(3)-①交通環境の整備

1 事業の目的

対象	市民等
意図	自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。
効果	駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

- ・老朽化が進んだ大船駅東口自転車等駐車場の今後の在り方を検討し、概略設計を実施した。
- ・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を行った。
- ・歩行者の安全な通行を確保するため、放置しづらい環境づくりを推進した。
- ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び放置自転車等保管場所の警備を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度	令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	放置自転車保管場所 管理事務	維持修繕料等		- / - 1,031 / 1,005	- 1,153	
02	放置自転車防止対策 事務	放置自転車の警告、撤去、保管等	放置自転車等保管場所に移動した放置自転車等の年間総数(台)	983 / 0 55,519 / 66,516	- 93,748	
03	自転車等駐車場整備 事務	自転車等駐車場等土地使用料等		- / - 2,510 / 2,509	- 2,509	
04	一般事務経費	消耗品費		- / - 0 / 22	- 22	
		財源 内訳	国県支出金	/		
			地方債	/		
			その他特定財源	11,175 / 22,783	25,481	
			一般財源	47,885 / 47,269	71,951	
		事業費の合計(千円)		59,060 / 70,052	97,432	
		人件費(千円)			15,113	15,667

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.6	1.5	1.3	1.8	1.8	
会計年度任用職員	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	放置自転車保管場所管理事務	指標設定しない(本事業については、目標値として回数や進捗などで測れるものではないため。)	保管場所の維持修繕を行うものであり、放置自転車防止事業の推進に必要不可欠である。	放置自転車防止事業を推進する、適切な予算執行等を図ることに努めていく。
02	放置自転車防止対策事務	放置自転車防止対策の効果を評価するため、放置自転車等保管場所に移動した放置自転車等の年間総数の減少を放置防止対策の成果を指標とした。	放置自転車等が減少することは、安全で快適な生活の実現に寄与するため、構成する事業としては妥当である。	放置自転車等は減少傾向ではあるが、自転車駐輪場が不足しているエリアもあるため、新たな駐輪場整備が課題である。
03	自転車等駐車場整備事務	指標設定しない(自転車等駐車場等の土地使用料であり、目標値として回数や進捗で測れるものではないため。)	東日本旅客鉄道株と江ノ島電鉄株の土地を自転車等駐車場として使用するため、放置自転車防止防止事業の推進に必要不可欠である。	放置自転車防止対策に貢献しているが、未だ放置自転車等が駅周辺に見られることから、今後も関係機関と調整し用地拡大等に努めていく。
04	一般事務経費	指標設定しない(一般の事務に供する消耗品等の購入であり、指標の設定は馴染まないため)	事務経費として必要不可欠である。	特になし。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー 駐輪をしづらい環境づくりの有志(鎌倉駅周辺の事業者等)

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
・放置自転車等の根絶には継続的にマナーを守る意識の高揚を図っていくことが必要不可欠であり。事業を廃止、休止した場合、放置自転車が増加することは容易に想定されるため、引き続き継続していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	放置自転車等保管場所に移動した放置自転車等の年間総数						単位	台
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
放置自転車を減らすことを目標とするため 放置自転車等保管場所に移動した放置自転車等の年間総数の減少を目標とした。	目標値	0	0	0	0	0		
	実績値	823	917	963	983			
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--